

マッチングリクエストシート 【民間企業等入力版】

整理番号：

| | |
|--|---|
| <p>1 民間企業等名</p> | <p>一般社団法人日本経営士会</p> <p>(民間企業等URL)</p> <p>https://nihonkeieishikai.com/</p> |
| <p>2 業種 (貴団体の該当する業種を選択ください。)</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> ① 社団法人・財団法人 <input type="checkbox"/> ⑨ 卸売・小売業、飲食店</p> <p><input type="checkbox"/> ② NPO・NGO <input type="checkbox"/> ⑩ 金融・保険業</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 大学・教育機関・研究機関・国機関等 <input type="checkbox"/> ⑪ 不動産業</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 農業・林業・狩猟業・漁業 <input type="checkbox"/> ⑫ 運輸・通信業</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 鉱業 <input type="checkbox"/> ⑬ 電気・ガス・水道・熱供給業</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ 建設業 <input type="checkbox"/> ⑭ サービス業</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦ 製造業 <input type="checkbox"/> ⑮ その他</p> <p><input type="checkbox"/> ⑧ 宿泊・飲食サービス業</p> |
| <p>3 事業内容 (事業内容を御記載ください。)</p> | <p>本会は、日本で戦後初めての民間の経営コンサル団体として設立された集団です。会員は20歳代から90歳代まで、国家資格保有者（弁護士、医師、弁理士、公認会計士、税理士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、教育者、カウンセラー等）から現役の専門コンサルタント、会社経営者、経営経験者、会社後継者など、様々なスキルとノウハウ、多岐に亘る職歴・経験、様々なバックグラウンドを有するダイバーシティ（多様性）に満ちた、横のつながりが強い組織です。</p> <p>また、北海道支部から台湾支部まで広範囲にわたる、全国組織です。更に、経営支援事業を通じて、仕事のテリトリーは世界に広がっています。</p> |
| <p>4 貴団体の強み (貴団体の強みを御記載ください。)</p> | <p>昭和26年創立の日本経営士会は経営コンサル団体です。資格には「経営士」「環境経営士」等があります。</p> <p>①「経営士」には企業内の経営士と経営コンサルタントを職業としている経営士がいます。定年後は経営コンサルタントになる経営士は会社での経験がありますから実践的な企業支援を行っています。</p> <p>②「環境経営士」はSDGs経営、CSR経営、環境経営を普及する専門家です。企業内での活動、環境コンサルタントとして日本国内、海外でも活動しています。</p> <p>③日本国内には12支部があります。各地方には経営士、環境経営士（SDGs、CSR、環境経営の専門家）いますから地方創生には身近に対応可能です。</p> |
| <p>5 達成したいSDGsのゴール (17の目標・ゴールの中で、達成したい目標・ゴールを選択ください。※複数選択可)</p>  | <p><input type="checkbox"/> ゴール1：貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール10：人や国の不平等をなくそう</p> <p><input type="checkbox"/> ゴール2：飢餓をゼロに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール11：住み続けられるまちづくりを</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ゴール3：すべての人に健康と福祉を <input checked="" type="checkbox"/> ゴール12：つくる責任つかう責任</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ゴール4：質の高い教育をみんなに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール13：気候変動に具体的な対策を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ゴール5：ジェンダー平等を実現しよう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール14：海の豊かさを守ろう</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ゴール6：安全な水とトイレを世界中に <input checked="" type="checkbox"/> ゴール15：陸の豊かさを守ろう</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ゴール7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール16：平和と公正をすべての人に</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ゴール8：働きがいも経済成長も <input checked="" type="checkbox"/> ゴール17：パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ゴール9：産業と技術革新の基盤をつくろう</p> |
| <p>6 SDGs推進に向けて取り組んでいること・今後取り組みたいと考えていること (SDGs推進に向けた取組や、団体のSDGs関連の取組に関するWEBページのURL等を御記載ください。)</p> | <p>①一般社団法人日本経営士会（日本経営士会）はSDGs登録・認定制度を構築しています。</p> <p>②2つの分科会設置が内閣府から採択されています。1つは「SDGsをベースとした非財務的要素による中小企業と信評価指標の開発」（継続）2つ目は「中小企業・サプライチェーンにSDGs・CSR・環境経営の普及」（継続）です。この2つの分科会は密接に関連しています。</p> <p>③1つ目について付言します。所謂ESG投資はSDGsとは表裏一体の関係にあり、GPIFがESG投資を積極的に採り入れてから日本の金融界、投資の世界でもこの数年で急速に浸透してきています。この流れは中小企業融資にも波及してくるでしょうし、波及させるべきです。しかし対象を大企業や公開企業主体とするESG投資と今回我が経営士会が主たる対象とする中小企業向けの謂わば簡易版ESG融資とは、自ずと違いがあります。また、国際的に通じる世界共通のコンセプトと日本中小企業に特有な部分を考慮したローカライズの両立を目指します。</p> <p>④2つ目の分科会は、まさに、SDGs経営、CSR経営、環境経営（この3つは関連しています）等のマネジメントシステムを構築・普及することにより地方創生を目的としており、結果として一つ目の非財務的要素による評価向上に直結するものでもあります。</p> <p>■ご参考に日本経営士会のホームページをご参照ください。（現在ホームページは改装中です） 日本経営士会のHP：https://nihonkeieishikai.com/ 日本経営士会 CSR環境事業部のHP：https://www.compact-eco.com/</p> |
| <p>7 マッチング要望について (貴団体が持っているシーズや連携を通じて、貢献できるテーマについて、御記載ください。)</p> | <p>中小企業・サプライチェーンにSDGs・CSR・環境経営の普及とSDGsをベースとした非財務的要素による中小企業と信評価指標について、助言・意見・追加（削除・修正）提案・共同開発・モニタリング（実際の企業に適用して検証）・導入相談（カテゴリーを選択してください※複数選択可）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ① 地域活性化 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ 高齢者福祉・介護</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ② 移住・定住促進 <input checked="" type="checkbox"/> ⑩ 児童福祉</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ③ 産業振興・企業誘致 <input checked="" type="checkbox"/> ⑪ 教育</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ④ 雇用維持・創出 <input checked="" type="checkbox"/> ⑫ 環境対策（循環型社会・新エネルギー対策等）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 男女共同参画（機会の平等） <input type="checkbox"/> ⑬ 観光客の誘致・地域PR（インバウンドを含む）</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ 交通システム・公共交通対策 <input checked="" type="checkbox"/> ⑭ 情報化（ICT・IoT・AIの利活用等）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 災害対策・防災・減災 <input type="checkbox"/> ⑮ その他（ ）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 健康福祉</p> |

| | |
|---|--|
| <p>貴団体が持っているシーズ、強みとしているもので、どのような連携が提案できそうか、実際の連携イメージ等、事業提案の内容が想定できるものがあればお答えください。</p> <p>※取り組みの詳細が分かる既存の資料など（概念図、チラシ・パンフレット等PRできるもの）があれば、お送りください。</p> | <p>（連携先に提案できる内容について、詳細を御記載ください。）</p> <p>① 一般社団法人日本経営士会はSDGs登録・認定を行います。中小企業、自治体、大学などがSDGsとどのような紐付けが可能か所定のチェックリストにより確認を行っていただきます。それぞれのチェック項目には目標も入れてあります。この段階で登録をしていただきます。その後認定証の発行までは目標項目に沿って組織全体で取り組んでいただきます。目標項目には取り組む組織によって異なりますが、SDGsのゴール、ターゲット、CSR、環境関係が入ります。目標に向かってPDCAのマネジメントシステムを実施します。この登録・認定には外部の有識者で構成するSDGs認定委員会で認定の可否を決めます。</p> <p>② 「SDGsをベースとした非財務的要素による中小企業と信評価指標の開発」が、一つ目の分科会の登録内容ですが、具体的には、金融機関等の投融資判断に供し得る、企業価値の中長期的な向上（金融機関によっては債務劣化懸念の極小化）に資する客観的診断基準・指標・ツールの開発・提示を行なっています。この根底にある考え方は、「今日の非財務的活動」が、「明日の財務内容を築き上げる」と言う確信です。今回のコロナ禍や大規模風水害でも明らかになったとおり、元来、財務的基盤が強固とは言い難い中小企業は、これらの外的要素により財務内容が脆くも毀損してしまいます。結果としての決算書等財務内容の評価は勿論大事ですが、その分析だけに依存するのではなく、「非財務的要素」を加味する重要性を指摘いたします。これらは、謂わば、その財務内容の先行指標になると考えています。すなわち、非財務的要素活動をSDGsをベースとした、換言すれば、企業の持続可能性に着目して抽出・例示した、これら諸項目の実践が、やがて多くのステークホルダーの「支援・支持・賛同・共感」を集め、それにより着実に企業の売上・利益・規模・プレゼンスを向上させるものと確信しております。これらの企業活動に着目し、更にその活動の支援をすることこそが、コロナ後の金融機関に求められ、目つ、貸出資産の健全化にも資するのではないのでしょうか？ 経営士会から提示させていただく非財務的要素による評価ツールをベースに、より「明日の財務内容向上に資する」非財務的活動の取捨選択・検討検証を共同（協働）で進めませんか？ 銀行、信用金庫、信用組合、生損保及び各地の商工会議所、商工会、自治体（その所管する制度融資及び保証協会等）の皆様の参加（連携・協働開発・モニタリング・助言）を希望します。また、個別企業の参加（企業の立場からの意見、モニタリング＝検証）も歓迎します。</p> <p>③ 2つ目の分科会は「中小企業・サプライチェーンにSDGs経営、CSR経営又は環境経営を普及することにより持続可能な経営とSDGs関連の新規事業開発により地方創生を促す」ことが日本経営士会のSDGsに取り組む目的ですが、この考えに賛同いただける中小企業の経営者でこれら3つのうちどれかに挑戦しようという経営者、または賛同いただける団体、個人の方、大企業のサプライチェーン、SDGs、CSR、環境事務局の方と連携を希望します。</p> <p>④ 日本経営士会は、全国に12支部あり経営士、環境経営士が活動しています。地方創生のための人材（コンサルタント）提供可能です。</p> |
| <p>8 連携をイメージしている団体 （連携を想定している地方公共団体や民間企業等の規模感や地域・業種等があれば、御記載ください。）</p> | <p>《任意》</p> |
| <p>9 地方公共団体等との連携実績・内容 （これまでに、地方公共団体等との間でSDGs及び地方創生に関連して連携した経験等があれば、その内容（連携先、連携内容など）又はWEBページのURL等を御記載ください。）</p> | <p>《任意》</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> |
| <p>10 マッチング・連携に対する意向</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・共有及び意見交換等を行いたい <input type="checkbox"/> 連携に向けての具体的な提案がほしい</p> |
| <p>11 その他 （何かございましたら、御自由に記載ください。）</p> | <p>《任意》</p> |
| <p>担当部署</p> | <p>一般社団法人日本経営士会 本部</p> |
| <p>担当者</p> | <p>竹下 克美 横田英滋 本田哲行 福井 浩</p> |
| <p>連絡先（住所）</p> | <p>〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12B,D.A.二番町ビル5 F</p> |
| <p>連絡先（電話番号）</p> | <p>03-3239-0691</p> |
| <p>連絡先（メールアドレス）</p> | <p>office@nihonkeieishikai.com</p> |
| <p>WEBサイト掲載</p> | <p><input type="checkbox"/> 当該年度未まで掲載を希望 <input checked="" type="checkbox"/> 当該年度以降も掲載を希望</p> <p>情報有効期間： 2030年3月まで （希望する期間を御記載ください）</p> |